

1Fの安全統一ルール
22カ条【第8回】



昨年、過去の災害事例をもとに1F内で守るべき規定として、「1F安全統一ルール22カ条」を作り、運用を始めました。このコーナーでは、2カ条ずつ内容を紹介しています。

第15条「刈り払い機（草刈り）の取り扱い方遵守」

安全に気をつけて以下を遵守してください。
 ・防護メガネ、顔面保護ネット、すねガード、革製安全靴、踏み抜き防止インソールなどを装備
 ・事前に周囲を確認後、多段刈りを実施
 ・飛散防止カバーは適正に使用

第16条「単管端部（クランプ含む）への養生を実施」

作業をしていると、単管端部（クランプ含む）が傷ついたり、汚れたりしますので、カバーをかけるなどの保護を行ってください。ですが、人が容易に立ち入ることができない場所については除きます。

いこいの時間

ジグソーパズル

今月はジグソーパズルです。絵に載っているのは、「二本松の菊人形」。一部分に空いているところがありますが、当てはまるピースはどれかおわかりになりますか？



応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

入退域管理棟、福島第一登録窓口通入口にある応募箱に必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間 11月14日～11月25日

- *応募用紙は応募箱横に設置しています。
- *当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- *答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で発表します。

今号のプレゼント

福島名産のお菓子の詰め合わせです。

※賞品は写真と異なる場合がございます



協力：日本マーケティング協会様

ウェブサイトはこちら！



福島第一原子力発電所で働くみなさんへのお知らせ



月刊いちえふ。



11月

INDEX

- いちえふのいま
新事務棟が協力企業の皆さまで使えるようになります
- 1Fを守る仲間たち
日立プラントコンストラクション 佐々木 勝治さん
前枝建設 三浦 大典さん
- 1Fの安全統一ルール22カ条【第8回】
- いこいの時間
ジグソーパズル
プレゼント
福島名産のお菓子の詰め合わせ



とびっくす

健康 インフルエンザの予防接種受付中

今年もインフルエンザの予防接種を作業員のみなさまを対象に実施しています。場所や時間は各企業の担当の方にご確認ください。



イベント 復興なみえ町十日市祭(11/19、20)

産業の復興と経済の発展を目的に始まったとされる十日市祭。今年も11月に行われます！
 日程：11月19、20日 場所：JR二本松駅近郊



イベント ○○の秋を満喫しましょう！

家で何かをするにも外出するにしても最適な季節となりました。食欲・読書・芸術・行楽・スポーツとさまざまな秋を楽しみましょう！



いちえふのいま



みなさんが一体となって作業に取り組める環境になります

現在の新事務棟は、2017年2月以降、協力企業のみなさんに使っていただくことが計画されています。これにより、発電所全体が一体となって作業に取り組める環境になります。

1F構内では、2つの作業で汚染水がもれる危険性を減らしました。1つは、冷却水を循環させる屋外移送配管の距離を約3kmから約0.8kmに短くしたこと。もう1つは、1・2号機排気筒ドレンサンプピットの汚染水を抜いたことです。その結果、汚染水があふれる心配もなくなりました。

また、夏から秋にかけて、台風と秋雨前線による大雨が降りましたが、ポンプやバキュームカーによる地下水の汲み上げが速やかに行われ、水があふれや水もれはありませんでした。



1FOR ALL JAPAN
 ウェブサイトの紹介
<http://1f-all.jp/>

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみなさんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、作業員のみなさまを応援していきます。



月刊いちえふ。
 2016年11月号

【発行日】2016年11月15日
 【発行】
 1 FOR ALL JAPAN 事務局
 (東京電力ホールディングス SC室)
 【お問い合わせメールアドレス】
 info@1f-all.jp

1Fを守る
仲間たち18 日立プラントコンストラクション
原子力プラントサービス部 技師 佐々木 勝治さん一つひとつの作業を終えるたび
仲間と喜びを分かち合います

廃炉作業を進めるうえで欠かせないのが、放射線量の高い場所が今どうなっているかを調べること。そのためには、遠隔操作ロボットや調査装置を使います。ロボットや装置を動かすのは人間の仕事です。そんな難しい作業をこなしているのが、今回紹介する佐々木勝治さんとそのチームです。

誇りを持てる仕事なので本当にやりがいがある

— どのような仕事をされているのですか。

1Fで最初に行った仕事は、1号機原子炉建屋の床に穴を開け、トラス室と呼ばれる地下室に溜まった水の放射線量、水温、水質を調べることでした。その後、1号機と2号機でロボットが高線量エリアで実際に使えるかどうかの調査を行い、手ごたえを得ることができました。2014年からは新たな調査用ロボットを使い、人が入ることのできない場所の3D画像データを取る作業を行っています。その翌年からは、TIP室と呼ばれる部屋の壁に穴を開けて調査装置を入れ、データを取ってくるといった調査作業を中心にしています。

— 仕事にやりがいを感じていますか。

もちろんです。例えば、壁に穴を開けることができた、ロボットを入れることができたなど、一つひとつの段階ごとに、チーム



現在はいわき市内にお住まいで、奥さんと一緒にそばの食べ歩きをするのが休日の楽しみ

Message

作業で心身ともに疲れたときに、全国から寄せられた折り鶴やメッセージカードを目にすると、本当に勇気づけられます。



全員で喜びを分かち合います。それまで緊張していたメンバー同士が、防護服の上から手を握って喜び合うのはいい光景です。日本と地元のみなさんの将来を背負っているという誇りを持てる仕事なので、本当にやりがいがあります。

— 現場で大事にしているものはありますか。

現場で重宝しているのは、「レーザーポインター」です。人が立ち入れない高線量エリアにある機器や箇所を、レーザーポインターを使って指し示すことができるため、打ち合わせには欠かせません。また、モノではありませんが、本当に一番大事に思い、信頼しているのは、現場でともに働く仲間であることは言うまでもありません。

つと
お勤め先

株式会社日立プラントコンストラクション

国内外で、火力・原子力の発電設備、化学・鉄鋼プラント、交通システムなどの計画・建設を主な業務としている会社で、1964年に設立。2013年に現在の社名となった。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <http://1f-all.jp/interview/18/>

19 前枝建設
舗装工事部 部長 三浦 大典さん仕事が形になって残り、
人の役に立つことがうれしい

1Fの構内では「フェーシング」と呼ばれる舗装工事が進んでいます。フェーシングは、放射性物質の広がりを防ぐ、地元の復興や1F構内の廃炉作業を進めるうえで大事な仕事です。今回は、そのフェーシングを担当している前枝建設の三浦大典さんにお話をうかがいました。

— フェーシング工事とはどういうものなのでしょうか。

1F構内には数多くの木が植えられていましたが、土がむき出しになっていると、風が吹いたときに放射性物質を含みチリやホコリが舞い上がるおそれがあります。そこで、木を伐採して汚染された表面の土を削り取り、アスファルトやコンクリートをかぶせて舗装していくのです。

好きな仕事をして感謝されるのは幸せ

— どのようにしてやりがいを感じますか。

私たちがつくった桜並木の歩道を、毎日、作業員のみなさんが歩いてくれるのを見るのは大きな楽しみです。しかも、構内の舗装が進んだことで、作業員のみなさんも私たち自身も軽装備で済むようになりました。自分の仕事が、誰かの役に立っていると本当にやりがいを感じます。

1Fに来る前は石巻や仙台でも工事をしましたが、崩れた



ゴルフが趣味の三浦さん。会社の同僚たちとプレーをすることもよくあるという

Message

1Fの作業員は福島や日本のために思う人の集まりだと思います。協力しながら一日でも早い終結に向けて頑張らしましょう。



道を直して通れるようになると、地元の人が「ありがとう」と言ってくれます。このときほど、この仕事をやってよかったと思ったことはありません。自分の好きな仕事ができ、しかも感謝されるというのは本当に幸せだと感じています。

— 仲間とはどのようなことを話していますか。

飲み会でよく盛り上がるのが、「東北の復興は、1F構内の舗装から始まる。自分たちが復興を支えているんだ」という話題です。普通の現場なら、照れくさくて言えないようなことでも言えるくらい、熱い思いの人間が集まっています。今後も無事故、無災害を続けて、復興に役立っていきたいと思います。

つと
お勤め先

有限会社前枝建設

1993年に大阪で創業。建設工事業、土木工事業、舗装工事業など、まちづくりや復興のための事業を中心に展開。2012年に東北支店を設立。いわき市内にも営業所がある。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <http://1f-all.jp/interview/19/>